令和９年度定期募集（第１回）　実験課題申請要領

高崎量子技術基盤研究所　研究推進室

1.　申請の流れ

1．1　事前打ち合わせ

申請前に利用する施設及び実験装置の担当者と申請予定の照射実験の内容について、必ず打ち合わせを行い、実験の実施が可能な内容であることを確認の上、申し込んでください。また、実験に際して役務提供等を実験装置担当者に依頼する場合は予め内諾を得てください。打ち合わせについて、利用が複数年度にわたる場合、毎年度の申請前に打ち合わせを行ってください。

なお、各施設及び実験装置の担当者の連絡先が分からない場合は、takasaki-kyoyo@qst.go.jp 宛にご連絡ください。

表１．施設供用制度にて利用可能な施設、加速器及び装置のホームページの URL

施設、加速器及び装置	利用可能な実験装置（ポート）のページの URL
(1)AVF サイクロトロン	https://www.qst.go.jp/soshiki/104/43767.html
(2)3MV タンデム加速器	https://www.qst.go.jp/soshiki/104/24120.html
(3)3MV シングルエンド加速器	https://www.qst.go.jp/soshiki/104/24118.html
(4)400kV イオン注入装置	https://www.qst.go.jp/soshiki/104/24111.html
(5)1 号加速器（電子加速器）※1	https://www.qst.go.jp/soshiki/104/24105.html
(6)ガンマ線照射施設※1	https://www.qst.go.jp/soshiki/104/24105.html
(7)陽電子消滅寿命測定装置※1	https://www.qst.go.jp/soshiki/104/24112.html
(8)電子線描画装置※1	https://www.qst.go.jp/soshiki/104/24112.html

※1：(5)1 号加速器～(8)電子線描画装置については、随時受付しており、定期募集の対象外です。

1．2　研究計画書の作成

募集要項のページ中のリンクから「研究計画等記入用紙」の様式（word ファイル）をダウンロードの上、研究計画書を作成してください。作成した研究計画書は、施設供用システム（電子申請システム）にて電子申請する際、アップロードするデータとなります。

また、実験課題の実施において、薬品を使用する場合は、募集要項のページ中のリンクから「化学物質リスクアセスメント実施報告書」の様式（excel ファイル）もダウンロードの上、作成してください。

なお、研究計画書と化学物質リスクアセスメント実施報告書を予め pdf ファイルに変換し、一つのファイルに結合の上、システムにアップロードしてください。

1．3　施設供用システムによる電子申請

予め施設供用システムのログイン ID を申請・取得の上、システムへログインして、申請を行ってください。ログイン ID の申請は、https://takinssys.taka.qst.go.jp/TakInsSys/user/new_form.jsp の画面でできます。システム上での操作に関する説明は、本要領の 3 ページ目以降をご参考ください。

＜施設供用システム＞

https://takinssys.taka.qst.go.jp/TakInsSys/index.jsp

2.　申請時の留意事項等

・申請に際しては、応募対象施設や募集時間等について、募集要項をよくご確認の上、申し込んでください

・記入漏れや記載に不備がある申請は受け付けられません。
　ご不明な点は研究推進室（e-mail：takasaki-kyoyo@qst.go.jp）までお問い合わせください。

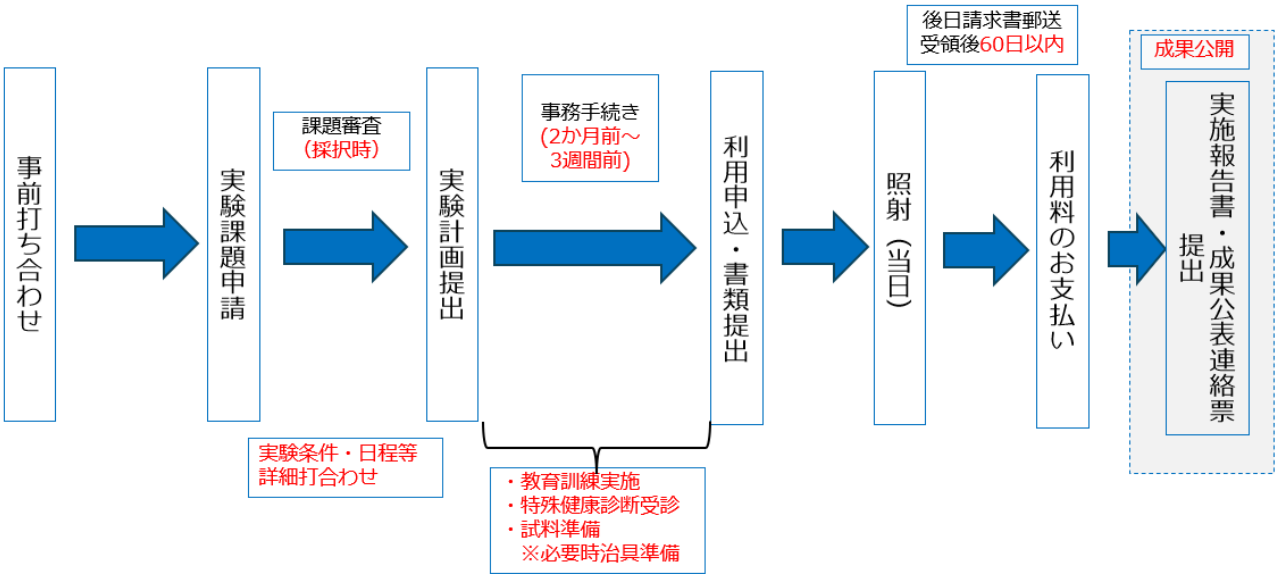
・実施が困難な利用条件や施設及び装置の都合等によっては受付できない場合があります。予めご了承ください。

・申請受付は、施設供用システム上のタイムスタンプが申込期限までの申請データを受付いたします。

・申請課題については、「施設供用課題審査委員会」において、「施設供用実験課題審査要領」に基づき、審査を行い、その審査結果に基づいて課題採択結果及び配分ビームタイムが決定されます。審査後、課題責任者へ結果を通知します。

＜参考＞

（1）施設利用の流れ



（2）施設供用規則及び約款ページのURL

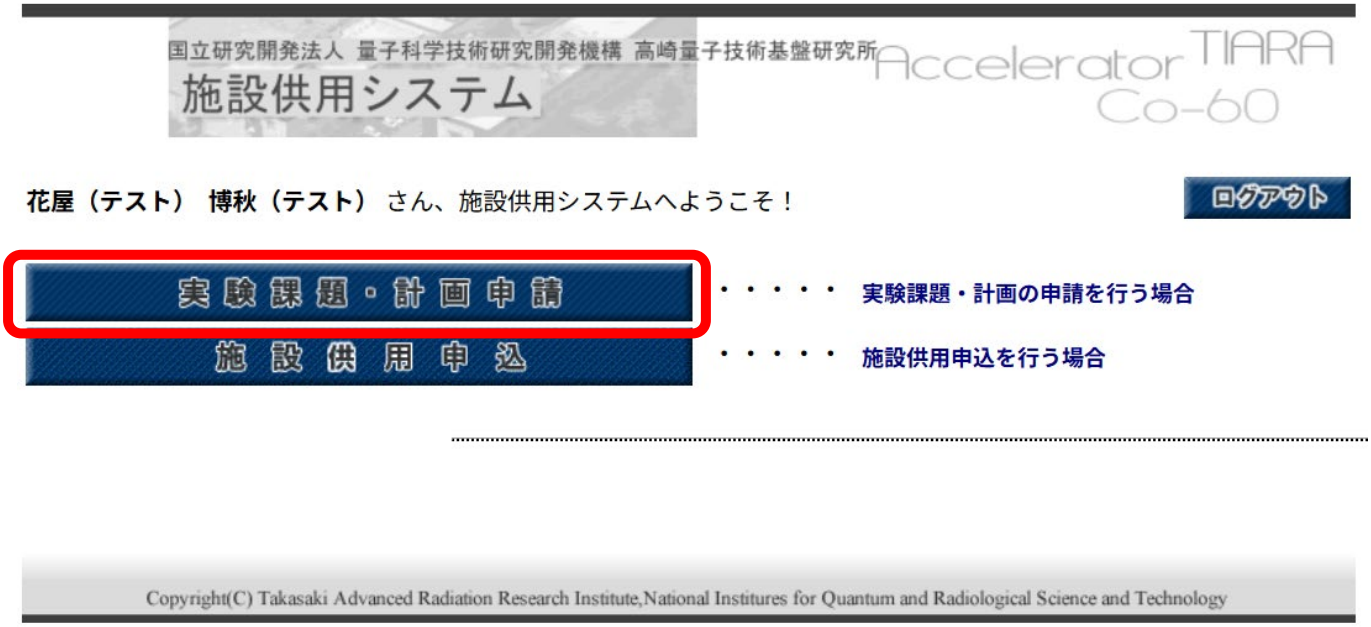
https://www.qst.go.jp/site/shisetsu-kyoyo/1944.html

（3）利用料金ページのURL

https://www.qst.go.jp/site/shisetsu-kyoyo/1952.html

3. 実験課題申請書作成

3.1 実験課題のデータ入力



(1) 施設供用システムにログイン後、上記画面にて赤く囲まれた「実験課題・計画申請」をクリックし、次ページのような実験課題及び実験計画申請画面に移行してください。



(2) 実験課題のデータを入力するために、赤く囲まれた「実験課題申請・申請状況一覧」をクリックし、次ページのような実験課題申請状況一覧画面に移行してください。



(3) 施設供用制度による実験課題申込者の方は、赤く囲まれたイオン照射研究施設の「新規登録」をクリックし、次ページ以降のようなデータ画面にて、実験課題情報をご入力ください。なお、この画面では、すでに施設供用システムに申請(データ入力)した実験課題の参照や修正（実験課題募集期間外やQSTが修正をロックしている場合を除きます。）が可能です。

3.1.1 実験課題情報入力

次の入力例を参考に各項目について、該当箇所に☑（チェック）を入れてください。

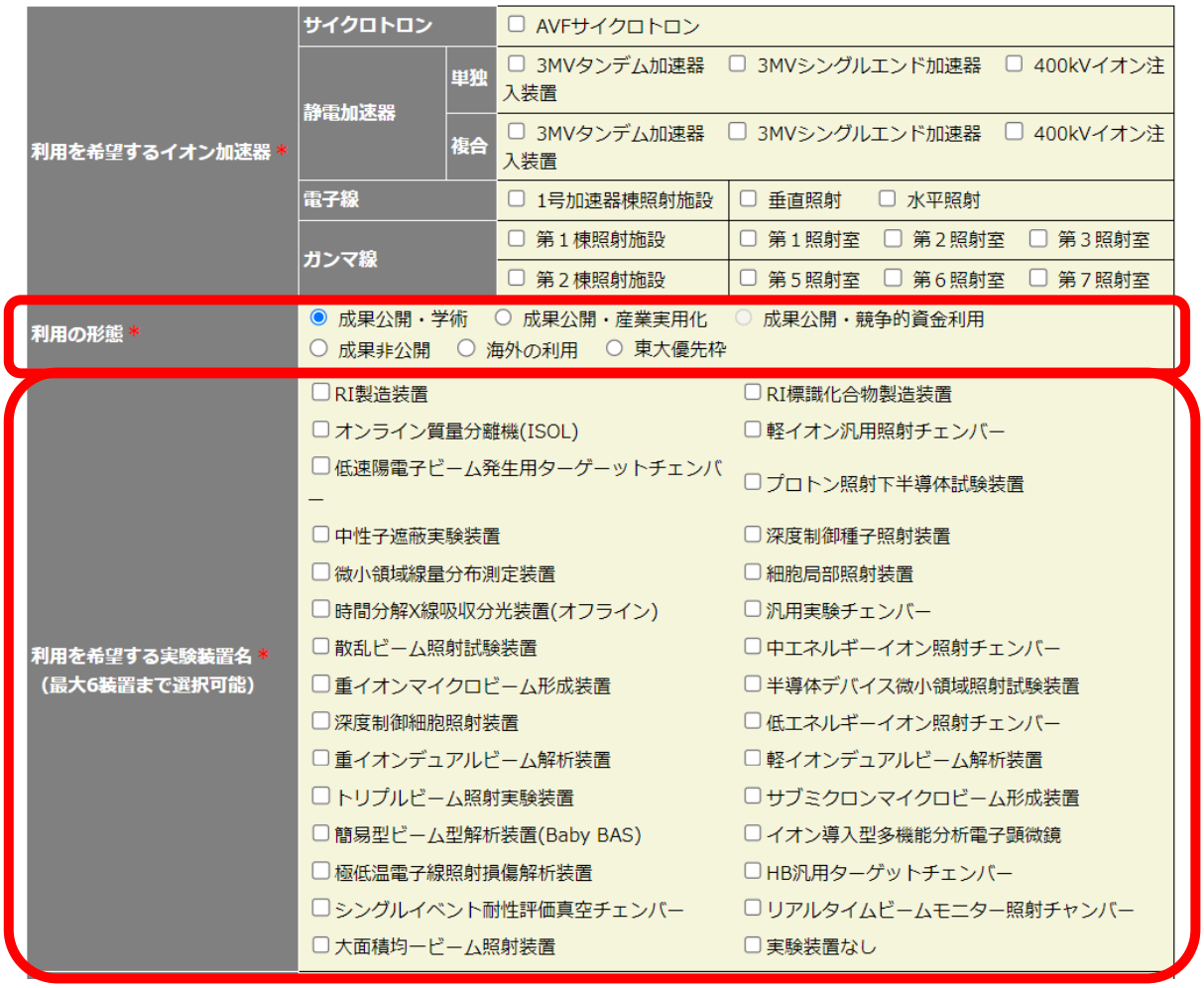
利用を希望するイオン加速器 *	サイクロトロン		☐ AVFサイクロトロン	
	静電加速器	単独	☐ 3MVタンデム加速器 ☐ 3MVシングルエンド加速器 ☐ 400kVイオン注入装置	
		複合	☐ 3MVタンデム加速器 ☐ 3MVシングルエンド加速器 ☐ 400kVイオン注入装置	
	電子線		☐ 1号加速器棟照射施設	☐ 垂直照射 ☐ 水平照射
	ガンマ線		☐ 第１棟照射施設	☐ 第１照射室 ☐ 第２照射室 ☐ 第３照射室
			☐ 第２棟照射施設	☐ 第５照射室 ☐ 第６照射室 ☐ 第７照射室
利用の形態 *	◉ 成果公開・学術 ○ 成果公開・産業実用化 ○ 成果公開・競争的資金利用 ○ 成果非公開 ○ 海外の利用 ○ 東大優先枠			
利用を希望する実験装置名 *（最大6装置まで選択可能）	☐ RI製造装置		☐ RI標識化合物製造装置	
	☐ オンライン質量分離機(ISOL)		☐ 軽イオン汎用照射チェンバー	
	☐ 低速陽電子ビーム発生用ターゲットチェンバー		☐ プロトン照射下半導体試験装置	
	☐ 中性子遮蔽実験装置		☐ 深度制御種子照射装置	
	☐ 微小領域線量分布測定装置		☐ 細胞局部照射装置	
	☐ 時間分解X線吸収分光装置(オフライン)		☐ 汎用実験チェンバー	
	☐ 散乱ビーム照射試験装置		☐ 中エネルギーイオン照射チェンバー	
	☐ 重イオンマイクロビーム形成装置		☐ 半導体デバイス微小領域照射試験装置	
	☐ 深度制御細胞照射装置		☐ 低エネルギーイオン照射チェンバー	
	☐ 重イオンデュアルビーム解析装置		☐ 軽イオンデュアルビーム解析装置	
	☐ トリプルビーム照射実験装置		☐ サブミクロンマイクロビーム形成装置	
	☐ 簡易型ビーム型解析装置(Baby BAS)		☐ イオン導入型多機能分析電子顕微鏡	
	☐ 極低温電子線照射損傷解析装置		☐ HB汎用ターゲットチェンバー	
	☐ シングルイベント耐性評価真空チェンバー		☐ リアルタイムビームモニター照射チャンバー	
	☐ 大面積均一ビーム照射装置		☐ 実験装置なし	

(1) 利用を希望する加速器・装置

赤く囲われた「利用を希望する加速器・装置」の入力欄について、申請課題で利用を希望する加速器等について全てに☑（チェック）を入れてください。この際、静電加速器3台（3MVシングルエンド加速器、400kVイオン注入装置）の利用希望において、1日のビームタイムの中で複数の加速器を同時又は交互に使用する場合は「複合」に☑（チェック）の上、加速器に☑（チェック）をしてください。その他の場合は「単独」に☑（チェック）してください。また、定期募集の対象外施設の電子線（1 号加速器棟照射施設）及びガンマ線（第1棟照射施設及び第2 棟照射施設）には☑（チェック）を入れないでください。なお、表１の加速器・装置の概要は次のURLでご覧いただけます。

表１．加速器・装置概要ホームページの URL

各加速器・施設の概要のページの URL
(1) AVF サイクロトロン （https://www.qst.go.jp/site/taka-shisetsubu2/24224.html）
(2) 3MV タンデム加速器 （https://www.qst.go.jp/soshiki/109/24225.html）
(3) 3MV シングルエンド加速器 (https://www.qst.go.jp/soshiki/109/24226.html)
(4) 400kV イオン注入装置 (https://www.qst.go.jp/soshiki/109/24227.html)

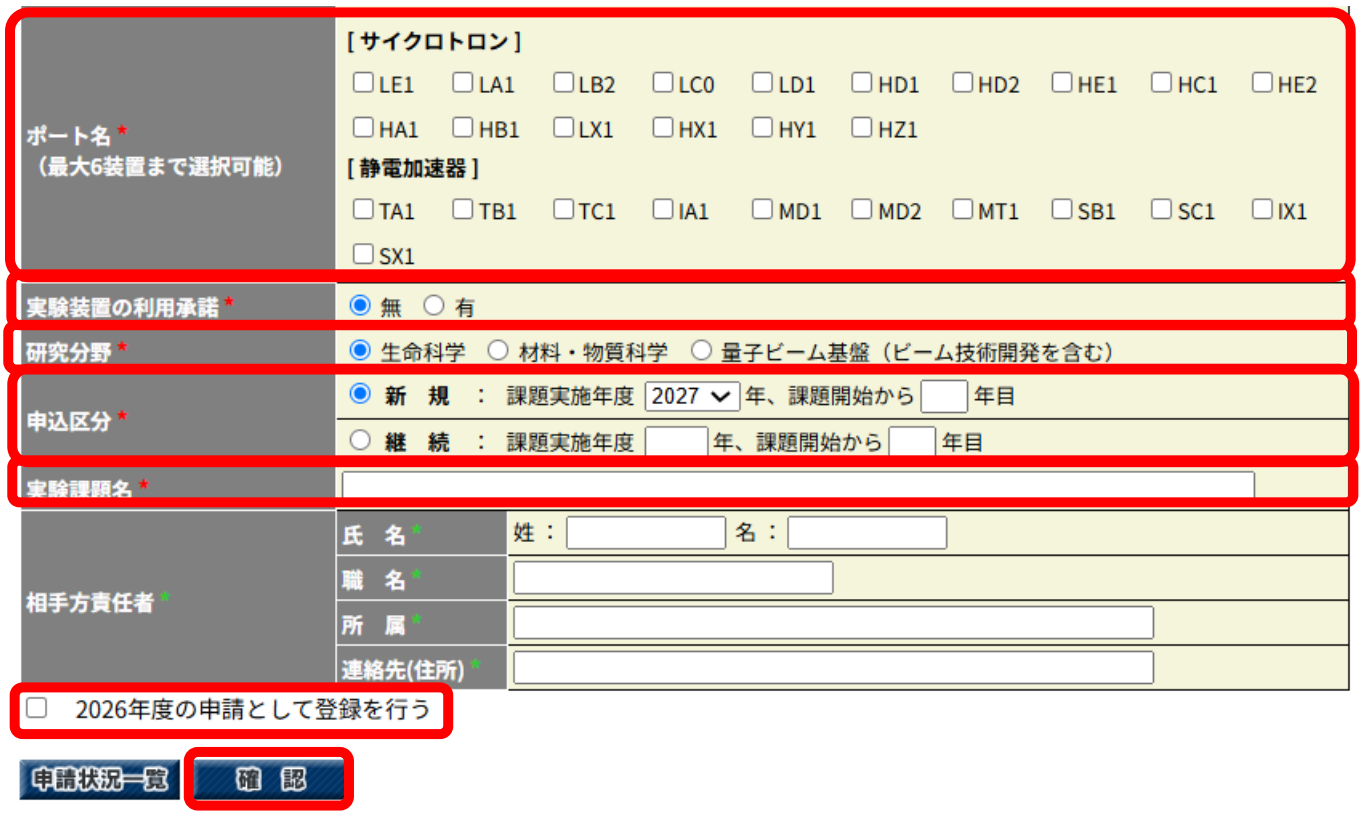


(2) 利用の形態

該当する「利用の形態」を☑（チェック）してください。成果公開・競争的資金及び東大優先枠には☑（チェック）しないでください。なお、利用の形態の詳細は、募集要項をご欄ください。

(3) 利用を希望する実験装置名

利用を希望する実験装置（ポート）全てに☑（チェック）してください。表 2 の施設供用制度で利用可能な実験装置（ポート）を次の URL でご確認の上、ご利用可能な実験装置（ポート）に☑（チェック）してください。



(4) ポート名

「利用を希望する実験装置」の項目で☑（チェック）と齟齬が無いように、該当する全てのポートに☑（チェック）してください。ご確認の上、ご利用可能な実験装置（ポート）に☑（チェック）してください。

(5) 実験装置利用の承諾

施設・設備の担当者(QST 職員)と打ち合わせ済みの場合は、「有」に☑（チェック）してください。また、打ち合わせした QST 職員やその打ち合わせを研究計画等記入用紙に記述してください。打ち合わせをしていない場合は、実験課題申請書を受け付けることができません。

(6) 研究分野

該当する研究分野を１つ☑（チェック）してください。

(7) 申込区分

申請課題の実施期間を入力してください。ただし、最長 3 年とします。

(8) 実験課題名

申請する実験課題名を入力してください。

※1：「相手方責任者」入力欄は、入力しないでください。

※2：「2026 年度の申請として登録を行う」には、☑（チェック）を入れないでください。

(1)～(8)まで入力が終わりましたら、「確認」をクリックしてください。入力漏れがある場合は、確認画面でエラーが表示されますので、表示内容に従って、ご修正ください。エラーが無くなりますと、確認画面の左下に「確定」が表示されますので、クリックして、次の入力画面に進んでください。

3.1.2 実験参加者情報入力

次の入力例を参考に各項目について、該当箇所に☑（チェック）を入れてください。



(1) 実験参加者

上記画面の赤く囲われた「追加」をクリックすると、次のような実験参加者情報入力の画面がポップアップされるので、実験参加者の情報（氏名、ふりがな、所属、職位、電話番号、メールアドレス）を入力して、「確認」をクリックしてください。確認画面が表示されますので、入力情報に誤りがなければ、「確定」をクリックし、修正があれば、「戻る」をクリックして、修正を行ってください。この作業を実際に実験に参加する人だけを入力してください。運用上参加の可能性のみで入力することは、参加規模や実施体制の把握が困難となりますので、避けてください。



3.1.4 サイクロトロン照射実験計画入力（AVF サイクロトロンに☑（チェック）場合のみ）



(1) 安全性、同種の照射実験経験、RI 使用許可、RI 使用許可

- 安全性については、照射試料について、発火性、毒性、病原性などのような試料取扱上の危険性、もしくは溶融、蒸発、破損などのような照射実験上の危険性から判断して、どちらかに該当する方に☑（チェック）してください。照射試料の安全性に関しては、研究計画等記入用紙の記述欄がありますので、詳細はそちらに記述してください。
- 過去の同種の照射経験実績について、どちらかに該当する方に☑（チェック）してください。
- ＲＩの使用許可が必要な場合(LA ポートにて RI 製造目的で照射を行い、照射試料を RI として管理区域外に持ち出す場合)には「要」を☑（チェック）し、「RI 使用許可」については、許可を取得済みの場合「済」を☑（チェック）してください。RI の使用許可が不要な場合（照射試料がしきい値以下で放射化しない場合や照射チャンバー内で十分冷却して、RI として持ち出さない場合）は「不要」に☑（チェック）してください。

(2) サイクロトロン照射実験計画情報入力

上記画面の赤く囲われた「追加」をクリックすると、次のようなサイクロトロン照射実験計画情報入力の画面がポップアップされるので、次の各項目について、入力して、「確認」をクリックしてください。確認画面が表示されますので、入力情報に誤りがなければ、「確定」をクリックし、修正があれば、「戻る」をクリックして、修正を行ってください。この作業を計画している照射実験計画(実験条件)の数だけを入力してください。



① ビーム条件等

計画しているビーム条件(照射ポート、加速粒子、エネルギー、ビーム電流範囲)を条件ごとに漏れなく、入力してください。なお、本情報と後述の②照射試料の情報の項は、施設適合性を評価するためのものです。できるだけ具体的に入力してください。評価できない場合は不採択になる可能性があります。

※1：希望するイオン種を 84Kr20+ のように具体的に入力してください。なお、電子申請システムでは、上付き、下付き文字が使用できませんのでご了承ください。

※2：エネルギーは、原則として MeV 単位で入力してください。サイクロトロンにおいて利用する粒子のエネルギー条件が複数の場合には、加速粒子ごとに具体的な値を明確に入力し、加速粒子が 40Ar8+～40Ar13+、エネルギーは 175～460 MeV 等の包括的な記載はしないでください。

※3：ビーム電流範囲は、原則として絶対電流値（eμA, enA 等）を入力してください。

※4：特殊照射として、サイクロトロンでは拡大照射とパルス照射が利用できます。利用する場合は、加速器・ビーム輸送系の性能を参照するか各加速器担当者と相談の上、希望する特殊照射を備考欄(後述)に入力してください。

② 照射試料

物質名は一般的に通用している名称とし、その後に化学式を付記してください。略称の場合はフルネームを括弧書きで付記してください。入力枠内に入らない場合は備考欄に入力してください。また、形質、形状、無機固体シート、金属板、無機粉末錠剤、有機ポリマーフィルム、生物試料などと試料の状態が分かるように具体的に入力してください。その後に試料のサイズ(奥行き×幅×厚さ)を入力してください。

③ 平均照射時間等

同一ビーム条件・照射試料で照射時間を変えた実験をする場合は、平均照射時間に換算して 1 回の実験あたりの平均の照射回数を入力してください。所要時間について、1回のビームタイムあたりの時間を入力してください。また、期間中の回数及び期間中の合計所要時間を入力の上、最下行の合計欄には、各項目の合計を入力してください。

④ 備考欄

特殊照射の他、補足がある場合は、記載してください。

3.1.5 静電加速器照射実験計画入力（3 台の静電加速器に☑（チェック）場合のみ）



(1)安全性、同種の照射実験経験、RI 使用許可、RI 使用許可

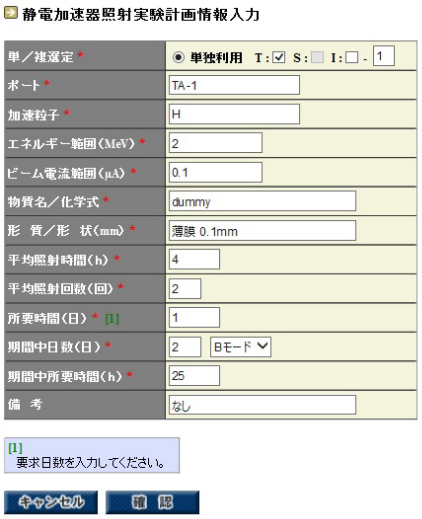
・安全性については、照射試料について、発火性、毒性、病原性などのような試料取扱上の危険性、もしくは溶融、蒸発、破損などのような照射実験上の危険性から判断して、どちらかに該当する方に☑（チェック）してください。照射試料の安全性に関しては、研究計画等記入用紙の記述欄がありますので、詳細はそちらに記述してください。

・過去の同種の照射経験実績について、どちらかに該当する方に☑（チェック）してください。

・ＲＩの使用許可は「不要」及び「未済」を☑（チェック）してください。

(2)静電加速器照射実験計画情報入力

上記画面の赤く囲われた「追加」をクリックすると、次のような静電加速器照射実験計画情報入力の画面がポップアップされるので、次の各項目について、入力して、「確認」をクリックしてください。確認画面が表示されますので、入力情報に誤りがなければ、「確定」をクリックし、修正があれば、「戻る」をクリックして、修正を行ってください。この作業を計画している照射実験計画(実験条件)の数だけ入力してください。



①ビーム条件等

計画しているビーム条件(照射ポート、加速粒子、エネルギー、ビーム電流範囲)を条件ごとに漏れなく、入力してください。なお、本情報と後述の②照射試料の情報の項は、施設適合性を評価するためのものです。できるだけ具体的に入力してください。評価できない場合は不採択になる可能性があります。静電加速器の単複選定は、「T S I」のうち、使用するものに☑（チェック）して、実験条件の番号を入力してください。

※1：希望するイオン種を 84Kr20+ のように具体的に入力してください。なお、電子申請システムでは、上付き、下付き文字が使用できませんのでご了承ください。

※2：エネルギーは、原則として MeV 単位で入力してください。

※3：ビーム電流範囲は、原則として絶対電流値（eμA, enA 等）を入力してください。

※4：特殊照射として、拡大照射、複合照射、交互照射及びマイクロビームが利用できます。利用する場合は、加速器・ビーム輸送系の性能を参照するか各加速器担当者と相談の上、希望する特殊照射を備考欄(後述)に入力してください。

②照射試料

物質名は一般的に通用している名称とし、その後に化学式を付記してください。略称の場合はフルネームを括弧書きで付記してください。入力枠内に入らない場合は備考欄に入力してください。また、形質、形状、無機固体シート、金属板、無機粉末錠剤、有機ポリマーフィルム、生物試料などと試料の状態が分かるように具体的に入力してください。その後に試料のサイズ(奥行き×幅×厚さ)を入力してください。

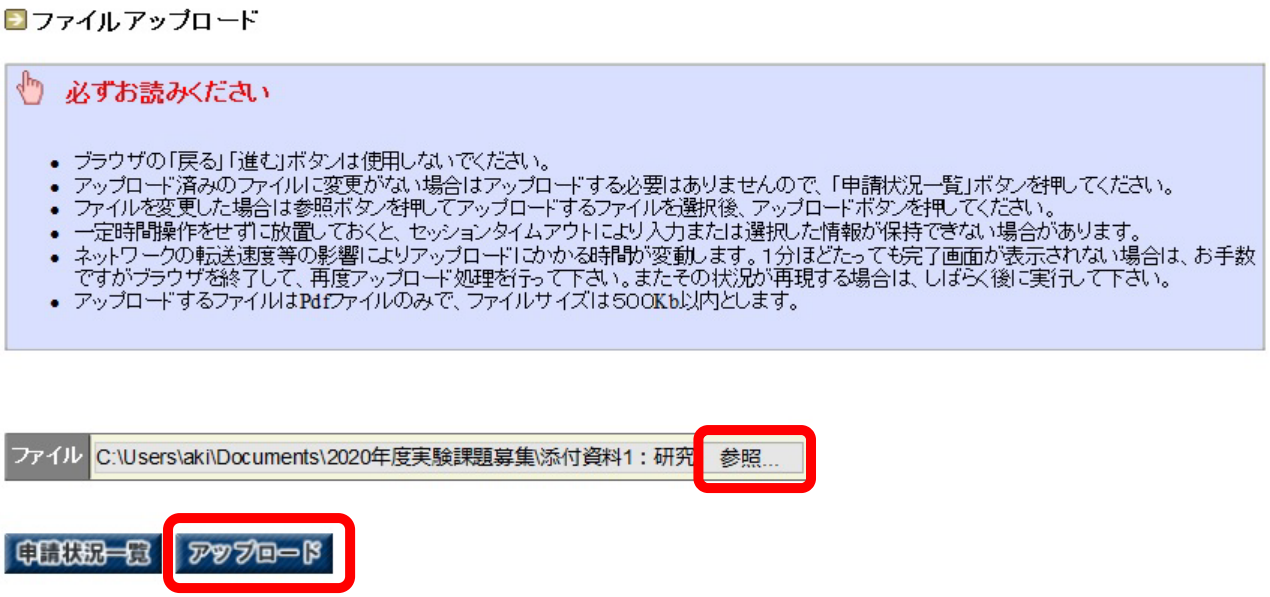
③平均照射時間等

同一ビーム条件・照射試料で照射時間を変えた実験をする場合は、平均照射時間に換算して日の実験あたりの平均の照射回数を入力してください。所要時間（日）について、１回の実験あたりに必要な日数を入力してください。また、期間中日数及び期間中の合計所要時間（時間）を入力の上、最下行の合計欄には、各項目の合計を入力してください。

④備考欄

特殊照射の他、補足がある場合は、入力してください。

3.1.6 PDF ファイルのアップロード



(1) PDF ファイルのアップロード実験参加者

赤く囲われた「参照」をクリックし、次ページ以降の研究計画等作成要領に沿って、別途作成していただいた研究計画等記入用紙の PDF ファイルを指定した後、「アップロード」クリックして、電子申請システムにアップロードしてください。以上、電子申請システム上での作業は完了です。

研究計画等記入用紙作成要領

1. 作成時の留意事項

(1) 「研究計画等記入用紙」2 ページ目以降のページ数は、成果リストも含めて 5 ページ以内としてください。ただし、その中で成果リストは2 ページを超えない範囲としてください。

(2) 記入漏れや記載に不備がある申請課題は受け付けられません。ご不明な点は研究企画部（高崎）までお問い合わせください。

(3) 「研究計画等記入用紙」1 ページ目の基本情報、最後に添付した高崎研究所の作業における安全性等の確認項目（チェックリスト）及び別紙 1 の安全性等の記載については、研究計画等記入用紙の 5 ページの制限には含まれません。

2. 基本記載情報

2.1 事前打ち合わせ

打合せ済みの項目に■（チェック）の上、事前打ち合わせを行った施設及び実験装置担当者名（QST 職員）及び所属とその内容に関して、記述してください。

2.2 技術支援の希望

(1) 技術支援の希望について■（チェック）してください。

(2) 希望ありの場合は支援を希望する内容を記入ください。ただし、支援によっては、利用支援に係る経費(追加経費)が発生する場合もあります。

2.3 実施にあたっての誓約

実際の施設利用にあたって、誓約いただける場合は、破線の記名場所にご記名ください。なお、誓約いただけない場合は、課題申請を受け付けることができません。

3. 研究開発計画等記入用紙

実験課題は、選定された研究価値の分類（科学的、技術的、実用的及び社会的）に着目して審査されます。専門研究分野以外の審査委員にも十分理解できるよう簡潔明瞭に記載してください。提出に際しては、赤文字で書かれている部分は削除してください。研究計画等記入用紙は、10.5 ポイント以上のフォントで作成してください。各項目に対して記載する分量を調整し、必要に応じて図表等を入れることは構いません

3.1 研究開発目的

(1) 研究開発背景及び目的

研究・開発の背景及びその中での本申請課題の位置づけに関して記載してください。学術型の課題では学術的・技術的価値を、産業・実用化型の課題は、実用的価値を中心に記述してください。

(2) 研究開発の意義

申請課題の全体期間の目標と、その目標を達成することで、当該分野の課題が本質的にどのように解決されるかを記載してください。加えて、学術型の場合は、成果の当該研究分野や社会に与えるインパクト、産業・実用化型の場合は、成果の経済的・社会的なインパクトも記載してください。

3.2 研究計画・方法

(1) 申請課題の研究内容

具体的な研究内容・研究の流れ、及び年度内の達成目標を記載し、年度内の達成目標に関しては、「【研究開発目的】（2）研究開発の意義」に記載した全体期間での目標との関係も記述してください。研究の実施体制や希望時間（日数）の妥当性を評価するために、高崎量子技術基盤研究所のイオン照射研究施設での実験の前後に行う研究に関しても記述することが望ましいです。共同研究や連携重点研究の場合は、それぞれの参加者の役割等を記載してください。

(2)対象期間内の実験計画

具体的な実験内容、希望時間数（日数）、実験スケジュール（実験日当日スケジュールや実施予定時期等）及びその他特別な利用方法があれば、それらについて(1)～(3)に記述してください。

- 実験内容及びスケジュール

  試料名、加速器名、イオン種、エネルギー及びそれぞれの実験スケジュールを記述してください。希望日数の妥当性の判断のため、個々の実験の必要性を簡単に記述してください。

- 希望時間（日数）

  それぞれの条件における希望時間をサイクロトロンは時間単位で、静電加速器は加速器毎にそれぞれ日数単位で記載するとともに、その時間数の必要性や算定根拠を様式中の表へ記載例に倣って記載してください。なお、希望時間数の必要性や算定根拠が不明瞭な場合には採択時間を減らす場合がありますので、予めご了承ください。※不明瞭な場合は、適切に審査が行うことができないため、事務局より確認いたします。

利用する加速器或いは施設	線種(或いはイオン種)	希望時間	研究テーマにおける希望時間の算定根拠 （記載例を以下に示す）
サイクロトロン	C-320MeV ハモ1	8時間	小テーマ①は高放射線耐性材料の選定であり、想定環境では320MeV クラスの炭素ビームの影響が最も高いため、炭素ビームが必須である。所要時間1時間/サンプルで、8種類のサンプルの照射には、1時間/サンプル×8＝8時間が必要である。
サイクロトロン	H-20MeV ハモ2	8時間	小テーマ①は、高放射線耐性材料の選定であり、想定環境において、炭素ビームの半分程度の影響であるが、20MeV クラスの水素ビームの影響も高く、その照射が必要である。8 種類のサンプルの照射には、1時間/サンプル×8＝8時間必要である。
イオン注入装置	H-380keV	上期2日 下期4日	小テーマ②新開発材料のデータ収集とそれに伴う基材の再検討を行うため、使用環境下で最も寄与がある水素ビームでの照射が必要である。所要時間は 1 日/サンプルで、2 つの材料及び 3 条件（照射量）のため、1日/サンプル×2×3＝6日が必要である。

- その他

  複数加速器利用やサイクロトロンにおいては1回のビームタイム、静電加速器においては1日のビームタイム終了後もビームラインを占有する場合等の特殊な要望がある場合は記述してください。

3.3 これまでの成果とその意義

〇継続の場合

本申請が前年度以前からの継続課題の場合は、前年度・前々年度にどのような成果が得られ、課題全体のどこまで進んでいるのか、問題が生じ計画の修正が必要であったのか等、課題の進捗状況及び得られた成果、並びにその意義について記入してください。また、成果の意義を説明するために関連テーマの成果を説明する必要がある場合は、関連テーマの成果及び意義を記載することも可能です。成果リストの論文番号を参考文献として引用してください。

〇新規の場合

本申請が新規課題の場合は、過去に関連する課題で当研究所の照射施設を利用したことがあれば、その成果及びその成果の意義について、初めて当研究所の照射施設を利用する場合は、関連する研究の過去の成果及びその成果の意義を記入してください。成果リストの論文番号を参考文献として引用してください。産業・実用化型の申請課題に関しては、実用化の有無やプロトタイプや実証機の試作といった実用化に向けたアウトプットも併せてご記載ください。

3.4 特記事項

加速粒子、エネルギーなどについて新しいビーム条件の開発を希望する場合は、この欄に利用目的とビーム条件を記述してください。令和７、令和８年度からの継続課題の申請において、課題責任者が人事異動等の事由でやむを得ず変更する場合は、その理由を簡潔に記載してください。また、秘密保持契約の関連課題の場合はその旨を記載してください。

3.5 その他

外部資金によって実施される実験課題については、外部資金名を記載してください。

3.6 成果リスト

成果リストは全体で2ページ以内とし、本請課題に直接関係する成果について、過去5年間のものを記載してください。ただし、【これまでの成果とその意義】において、成果の重要性を説明するために必要な場合は5年以前の成果もリストに記載することを可としますが、その場合でも2ページ以内を厳守とします。

学術雑誌、公刊報告書、特許・品種登録、口頭発表に分けて記載し、順番は前後して構いませんが、著者、論文タイトル、学術雑誌名、号、ページ、年を記載してください。学術雑誌等の場合は査読有と無で区別して記載してください。フォントサイズは10.5ポイントを原則とし、書ききれない場合はフォントサイズを9ポイントまで小さくすることは可とします。

産業・実用化型の場合はこれまでに実用化した製品・技術について記載してください。

4. 高崎研究所の作業における安全性等の確認項目

実験課題の安全性等について、研究計画等記入用紙の最後に添付したチェックリストにて、該当する選択肢に■（チェック）してください。また、チェックリストの記載指示に従って、研究推進室へ参考資料の提出や別紙1に詳細を記載してください。なお、本項目も審査対象となります。